平成30年度 信州新町小学校グランドデザイン

今年度の合い言葉 「笑顔ひろげる学校」

~明るいあいさつ~

長野市教育の基本理念 明日を拓く深く豊かな人間性の実現

学校教育目標

かしこく

やさしく たくましく

第二期しなのきプラン

- ・確かな学力の育成
- ・豊かな心の育成
- ・基礎的な体力の育成

ねがう

子どもの姿

自分で主体的に考え判断できる 子ども

<重点1>

基礎基本を身につけ、自分から 進んで考え、友だちと伝え合い、 学んだことを活用する

- •「自分のノート」で学習の足跡作り
- 互いの思いや考えを伝え合う学習活動
- 「分かったこと」「できたこと」のふり返り
- ・保小、小中の交流や体験学習

友だちを思いやり助け合う 子ども

<重点2>

自分や友達のよさを再発見し、 いじめを許さず、人やものを 大切にする

- 「おはよう」を元気に交わし合い、「ありがとう」「大丈夫?」等温かい言葉掛けができる学校づくり
- ・他者を尊重し、違いを受容し合う関係 づくり
- ・いじめに立ち向かう勇気を育む

最後まできちんとやり**通す** 子ども

<重点3>

心と体の健康を保ち、決まりや マナーを守り、目標達成に向かって 努力する

- 運動習慣を身につける朝マラソンと なわとび
- ・ひざをつき、床と心を磨く清掃
- ・ドリルの時間と読書の充実
- ・ 小高の交流 (遠足や職場体験)

主体的に取り組む学習過程の推進

- ・「しなのき授業スタンダード(課題 設定→個の学び→友との学び →学びの実感)」の定着
- ・算数を中心とした日々の授業改善
- ・「外国語」「特別の教科道徳」 「プログラミング」等主体的な 校内外研修への参加
- ・全国学力学習状況調査とNRT の小中連携による結果分析
- ・学校の課題に正面から向き合う 学校自己評価

自己肯定感を育む学級経営

- ・自らの人権意識を高める教師 集団を目指した研修
- 自己肯定感や有用感を高める 児童理解
- ・活動の明確な意義付けと評価
- ・互いのあり方や行為のよさを 見つけ、認め合う相互評価
- ・いじめアンケートの検証や 「しなのきアンケート」の活用
- ・特別支援学級の全校への位置付け

自分の将来と今の姿をつなげる 学校生活

- ・できることを一つずつ褒めて 認める基本的な生活習慣や 学習習慣形成
- ・6歳の幅をいかす異学年交流や 縦割り班活動
- ・保小中高の交流や地域の方々との 交流活動
- ・集中力を養う読書やドリルの継続
- ・地域素材をいかした食育
- ・地域行事や地域の特色から学ぶ ふるさと学習







学校・家庭・地域がつながり、地域の宝である子どもを守り育てる

「信州新町コミュニティスクール」の充実を図る

PTA

地域

- PTA活動への積極的参加
- 学校、担任との十分な意思疎通
- 地域諸団体との連携
- ・学校支援ボランティア(行事・安全・学習・キャリア教育
 - ・環境)の理解と参加
- ・ふるさと学習への協力とふれ合い活動への参加
- コミュニティスクールへの理解と参画